

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科		看護学科		科 目 区 分		基礎分野	授業の方法	講義演習	
科 目 名		治療過程と慢性期の看護			必修/選択の別		必修	授業時数(単位数)	16 (1) 時間(単位)
対 象 学 年		3年次			学期及び曜時限		前期	教室名	各教室
担 当 教 員		今若広之	実務経験と その関連資格		病院にて看護師として勤務				
《授業科目における学習内容》 慢性的な健康問題をもつ各期の対象者を身体的、心理的、社会的な側面より理解し、対象者が主体的に療養生活を送るために必要な看護援助について学ぶ。治療や検査を受けながら生活している対象者の日常生活行動を理解し、正確性・安全性・安楽性やさらに高い倫理観の必要性を学ぶ 治療・処置から看護実践を展開するときの基本的な思考過程にそって、看護援助を理解する									
《成績評価の方法と基準》 筆記試験・出席状況並びにグループワーク発表・事前課題レポート、課題提出状況にて総合的に判断する									
《使用教材(教科書)及び参考図書》 系統看護学講座基礎看護学 臨床看護総論 医学書院 疾病のなりたちと回復の促進[1] 病理学 人体の構造と機能[1] 解剖生理学									
《授業外における学習方法》 ・事前課題、課題レポート 授業の振り返りをまとめる									
《履修に当たっての留意点》 ・事前課題、課題レポート 授業の振り返りをまとめてグループワークができるようにしておくこと									
授業の方法			内 容				使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	慢性期の特徴・慢性期の患者のニーズについて説明することができる				テキスト 配布資料 AV機器	事前課題に取り組む	
		各コマにおける授業予定	慢性期における看護(成人・小児・高齢者) 1 慢性期の特徴(慢性期にある人の心理・社会的特徴) 2 慢性期の患者のニーズ						
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	慢性期にある患者への看護援助 ・疾患の受容のプロセスの理解について説明することができる				テキスト 配布資料 AV機器	事前課題に取り組む 授業内容をまとめ復習する。	
		各コマにおける授業予定	慢性期における看護(成人・小児・高齢者) 3 慢性期にある患者への看護援助 4. 疾患の受容のプロセスの理解						
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	行動変容のためのアプローチ・慢性期にある対象とその家族の理解について説明することができる				テキスト 配布資料 AV機器	事前課題に取り組む 授業内容をまとめ復習する。	
		各コマにおける授業予定	慢性期における看護(成人・小児・高齢者) 5. 行動変容のためのアプローチ 6. 慢性期にある対象とその家族の理解						
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	輸液療法・化学療法を受ける対象者への看護について説明することができる				テキスト 配布資料 AV機器	事前課題に取り組む 授業内容をまとめ復習する。	
		各コマにおける授業予定	輸液療法を受ける対象者への看護 化学療法を受ける対象者への看護						
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	放射線療法・身体侵襲を伴う検査・治療を受ける対象者への看護について説明することができる				テキスト 配布資料 AV機器	事前課題に取り組む 授業内容をまとめ復習する。	
		各コマにおける授業予定	放射線療法を受ける対象者への看護 身体侵襲を伴う検査・治療を受ける対象者への看護 1 身体侵襲を伴う検査・治療 2 身体侵襲を伴う検査・治療の看護援助						

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	慢性期看護の事例展開ができる	テキスト 配布資料 AV機器	グループワークができるように資料をまとめる
		各コマにおける授業予定	グループワーク 治療過程にある慢性期患者の看護（事例展開）①		
第7回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	慢性期看護の事例展開ができる	テキスト 配布資料 AV機器	グループワークができるように資料をまとめる
		各コマにおける授業予定	グループワーク 治療過程にある慢性期患者の看護（事例展開）②		
第8回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	慢性期看護の事例展開ができる	テキスト 配布資料 AV機器	グループワークができるように資料をまとめる
		各コマにおける授業予定	グループワーク 治療過程にある慢性期患者の看護（事例展開）③		